

取扱説明書

第1.4 版





明京電機株式会社

ご購入ありがとうございます。

LAN・タップ LT-3000 をご購入いただき誠にありがとうございます。 LAN・タップ LT-3000 は年間スケジュールで端末の無人化運転をネットワーク経由 で遠隔電源制御をする装置です。また PING 監視機能、自動リブート機能、メール自動通 報機能など多彩な機能搭載した LAN・タップ が皆様の所有されるネットワークシステム において、有効かつ有用なツールとして機能することを願っております。

このマニュアルを必ずお読みください。

本書はセットアップ手順と、操作、設置、安全の確保などのための手順が記載されています。 ご使用の前に、必ず本書をお読みください。お読み終わった後も大切に保管してください。

付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

1.	取扱説明書	•••••••••	・・・・・・・・・・・・・ 1部	ß
2.	CD-ROM		・・・・・・・・・・・・・ 1 杉	Z
	(内容)	・ユーザーズ・マニュアル ・MRC-UTILITY・イン ・MRC-MANAGER・イ ・MRC-MANAGER(S ・MRC-SHUTDOWN ・Acrobat Reader・イ	›(PDF ファイル) ‹ストールファイル インストールファイル S)·インストールファイル ·インストールファイル インストールファイル	
3.	保証書		・・・・・・・・・・・・・・・・1 部	ß
4.	RS232C(グ	[,] ロス)ケーブル	···· 1本	2
5.	シャットダウン	√ケーブル(XH-7610)	···· 1本	7
6.	2 P / 3 P 変換:	コネクタ	・・・・・・・・・・・・・・ 1 個	5

安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな 絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みい ただき、内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

▲ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う 可能性が想定される内容を示しています。
11章	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想 定される内容、及び物的損害 [*] の発生が想定される内容を 示しています。

物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

分解・改造禁止	◎は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は ◎の中や近くに絵や文章で示し ます。左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。
電源プラグを抜く	は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、 の中や近くに絵や文章で示しま す。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜 くこと」を示します。



万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く! 煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。

火災や感電の原因となります。このようなときは、すぐに電源プラグを抜いて お買い上げの販売店や弊社にお問い合わせください。



AC100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。 特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因と なりますので、絶対に接続しないでください。

本装置の電源アースあるいはFG端子を接地する 本装置の電源プラグのアースあるいはFG端子を接地してください。 感電や故障の原因となります。

本装置背面のACコンセントは15Aまで 本装置背面のACコンセントは、供給できる容量の合計は最大で15Aです。 合計15Aを越えて使用しないでください。火災や故障の原因となります。

たこ足配線をしない

本装置の電源は、家庭用電源コンセントから直接取ってください。 本装置のACコンセントに、電源用テーブルタップなどを接続して使用しな いでください。火災や故障の原因となります。

電源コードを大切に

コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。 コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工 したり無理に曲げたり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となる のでおやめください。コードが傷んだ場合はお買い上げの販売店、または 弊社までご相談ください。

極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない 本装置はパソコン及びパソコン周辺機器と接続する用途に設計されていま す。人命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要 とされる機器には接続しないでください。





交流100V









本装置の上や近くに水などの液体を置かない 本装置に水などの液体が入った場合、火災,感電,故障などの原因に なります。

ぬれた手で本装置の操作を行なわないでください。ぬれた手で電源プラグを 抜いたり、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本装置や電源プラグにさわらない

異物を入れない 製品の通気孔などに、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因 となります。万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコン セントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

ヘアースプレーなどの可燃物を本装置の上や近くに置いたり、使用したりしない スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。

雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない 感電の原因となります。本装置には、落雷用保護回路がありますが、 FG 端子を接地して、アースされた状態でないと十分な効果を発揮しませんの でご注意ください。また、雷がひどい場合は、本装置の電源プラグをコン セントから抜き、接続されているコネクタ類をすべて抜いて、雷がおさま るまで使用を控えてください。

分解したり改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触 ったり、製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因とな ります。

製品を落したりして破損した場合は

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグをコン セントから抜き、背面のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売店、ま たは弊社までお問い合わせください。



液体を近くに置かない

内部に異物を入れない





分解·改造禁止









可燃物禁止



逆さまに設置しない

本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でくるんだ状態での使用 もおやめください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用は おやめください。火災や故障の原因となることがあります。

通気孔をふさがない

製品には、内部の温度上昇を防ぐために通気孔が開けられています。 壁場合の設置は通気孔から5 c m以上離してください。通気孔から5 c m以 内に、物などを置かないでください。内部に熱がこもり、やけどや火災の原 因となることがあります。

風通しの悪いところに置かない

製品を密閉された場所に置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、 故障の原因となることがあります。

温度が高くなるところに置かない

直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かない でください。やけどや火災、故障の原因となることがあります。

お手入れのときは

本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よ く絞ってから軽く拭いてください(絶対に、電源プラグやコネクタなどの接 続部をこの方法で拭かないでください)。薬品類(ベンジン・シンナーなど) は使わないでください。変質・変色する場合があります。本体に接続されて いる電源プラグやコネクタなどの接続部のお手入れは、電源プラグやコネク タを抜いて、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合 も、必ず本装置の電源プラグをコンセントから抜き、本装置に接続されてい る電源プラグやコネクタ類も全て抜いてから行なってください。感電や故障 の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところに置かない

湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気が あたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となるこ とがあります。



湿気・ほこり禁止

雷源プラグを抜く



コードを引っ張らない













ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害を与えることがあります。

ぐらついた台や本装置より面積が小さいものの上や傾いた所、また衝撃や振 動の加わる所など、不安定な場所やお子様の手の届く所に置かないでくださ

データの保存について データの通信を行なう場合には、あらかじめデータのバックアップを取るな

不安定な場所やお子様の手の届く所には置かない

い。落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグとコンセントの定期点検を

本装置は日本国内のみで使用

コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグとコンセントは長時間つないだままでいると、ほこりやちりがた まり、そのままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることが

国外での使用は、電源電圧などの問題により、本装置が故障することがあります。

あります。定期的な清掃をし、接触不良などを点検してください。

どの処置を行なってください。回線や本装置の障害によりデータを消失する おそれがあります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを本装置の上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水などが内 部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

踏み台にしない 本装置の上に乗らないでください。 倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。



















目次

 機能概要 各部の名称と機能 DIP スイッチの設定 LED 表示について 接続可能な無停電電源装置(UPS) 第2章 初期設定(MRC-UTILITYによる設定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 各部の名称と機能 DIP スイッチの設定 LED 表示について 接続可能な無停電電源装置(UPS) 第2章 初期設定(MRC-UTILITYによる設定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 3. DIP スイッチの設定 4. LED 表示について 5. 接続可能な無停電電源装置(UPS) 第2章 初期設定(MRC-UTILITYによる設定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 4. LED 表示について 5. 接続可能な無停電電源装置(UPS) 第2章 初期設定(MRC-UTILITYによる設定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 5. 接続可能な無停電電源装置(UPS) 第2章 初期設定(MRC-UTILITYによる設定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 第2章 初期設定(MRC-UTILITYによる設定) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 ユーティリティの起動 基本設定 1 の内容入力 基本設定 2 の内容入力 詳細の内容入力 詳細の内容入力 電源制御 MAIL 設定 第3章 デバイスの制御(LAN 接続) ・・・・・・・・・・・・・・・26 MRC-MANAGERの設定 電源の制御 スケジュールの設定
 基本設定 1 の内容入力 基本設定 2 の内容入力 詳細の内容入力 詳細の内容入力 電源制御 MAIL 設定 第3章 デバイスの制御(LAN接続) ・・・・・・・・・・・・・・・26 MRC-MANAGERの設定 電源の制御 スケジュールの設定
 3. 基本設定 2 の内容入力 4. 詳細の内容入力 5. 電源制御 6. MAIL 設定 第3章 デバイスの制御(LAN 接続) ・・・・・・・・・・・・・・・・・26 1. MRC-MANAGERの設定 2. 電源の制御 3. スケジュールの設定
 4. 詳細の内容入力 5. 電源制御 6. MAIL 設定 第3章 デバイスの制御(LAN 接続) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26 1. MRC-MANAGERの設定 2. 電源の制御 3. スケジュールの設定
 5. 電源制御 6. MAIL 設定 第3章 デバイスの制御(LAN 接続) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 6. MAIL 設定 第3章 デバイスの制御(LAN 接続) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26 1. MRC-MANAGER の設定 2. 電源の制御 3. スケジュールの設定
 第3章 デバイスの制御(LAN 接続) ・・・・・・・・・・・・・・26 1. MRC-MANAGER の設定 2. 電源の制御 3. スケジュールの設定
 MRC-MANAGER の設定 2. 電源の制御 3. スケジュールの設定
2. 電源の制御 3. スケジュールの設定
3. スケジュールの設定
4. 動作設定
5. TELNET 接続による制御
6. コマンドライン一覧
第4章 デバイスの制御(シリアル接続)・・・・・・・・・・・・・・・42
1. 本機とモデムの接続
2. シリアル接続の設定
第5章 シャットダウン ····································
1. パソコンの接続
2. パソコンの設定
1. 本機と無停電電源装置(UPS)の接続
レン人ター覚 タイムチャート
シュムティート ハードウェア什様

第1章 はじめに

1.機能概要

本機には以下の機能があります。

1) 遠隔電源制御

- ・MRC-MANAGER を利用して LAN から遠隔電源制御
- ・TELNET サーバプログラムを利用して遠隔電源制御

2) 個別電源制御

・4 個の 100 VAC 電源を個別に制御

- 3)シリアル電源制御
 - MRC- MANAGER (S)を利用してモデム/TA 経由のシリアルから 電源制御
- 4)シャットダウン機能

・シャットダウン信号の送出によるデバイスの OS 正常終了

5) OUTLET タイマー機能

・ON 遅延時間、シャットダウン時間、リセット時間、OFF 遅延時間の設定 による各電源の動作制御

6) スケジュール機能

- ・MAX200件のメモリーで年間スケジュールに対応
- ・日付、曜日または毎日指定でスケジュール設定

7) PING 監視機能(死活監視機能)と自動電源制御

- ・PING による各デバイスの死活監視
- ・死活の判断基準を各デバイスに合せて任意設定可能
- ・死活判定後、自動で電源制御

8) メール機能

・電源の動作を自動でメール配信

9) Wakeup 機能

・MAGIC PACKET による Wake ON LAN 対応デバイスのブートアップ ・MAGIC PACKET による本機のブートアップ

10) 無停電電源装置(UPS) との連携機能

・UPS からの信号により、各デバイスへのシャットダウン信号送出

11) セキュリティ

- ・パスワードの設定、変更によるアクセス制限
- ・パスワードの入力猶予回数、待機時間によるセキュリティアップ

2.各部の名称と機能



PILOT LED	本体に電源が投入されている場合に点灯、点滅します。
OUTLET LED	AC アウトレットの電源出力状態を表示します。
シャットダウン / F	シャットダウンケーブル(XH-7610)を接続します。
AC アウトレット	デバイスの電源コードを接続します。
RESETスイッチ	出力電源に影響を与えずにCPUを初期化します。
DIPスイッチ	初期設定、本体設定に使用します。
LED	CPUの通信状態を表示します。
C O M . 1	初期設定用及び UPS やモデム接続用通信ポートとして使用します。
1 0 B A S E - T	LANケーブル(8ピンRJ45)を接続します。
FUSE	ガラス管ヒューズ 15A(6.4×30 mm)を使用します。
電源コード	商用電源、UPS などに接続します。

3.DIP スイッチの設定

DIPスイッチの機能(OFFは「下」、ONは「上」を意味します。)

NO.	状態	モード	
1	ON	UPS 接続モード	
1	OFF	UPS 未接続モード	
2	ON	モデムモード	
	OFF	パソコンモード	
2	ON	メンテナンスモード(初期化)	
3	OFF	運転モード	
4	未使用 常に下(OFF)		

 注 意 DIPスイッチを操作するときは、本体のACアウトレットから 全ての電源プラグを取り外してください。
 設定後は、必ず、RESETスイッチを押してください。 誤動作 する恐れがあります。

4. LED 表示について

1)LED

CPUの通信状態を表示します。

NO	用途	状態	表示
1	エクロロ通信状能	パケット受信時	点灯
		パケット未受信時	消灯
2	リンク状態	正常、ケーブル接続	点灯
		正常、ケーブル未接続	点滅
		異常時	消灯

2) PILOT LED

本体に電源投入されている場合に表示します。

点灯・・・電源供給中であることを意味します。

点滅・・・停電などにより、電源供給が一旦中断したことを意味します。

- 3) OUTLET LED
 A C アウトレットの電源出力状態を表示します。
 - 点灯・・・電源 ON
 - 点滅・・・電源 OFFに移行中
 - 消灯・・・電源 OFF

5. 接続可能な無停電電源装置(UPS)

WindowsNT,Windows2000,WindowsXP などの標準 UPS サービスに対応している必要があります。

第2章 初期設定 (MRC-UTILITYによる設定)

設定前の確認

設定用 PC と本機を付属の RS232C ケーブルで確実に接続してください。 MRC-UTILITY をPC にインストールしてください。 インストール手順は添付 CD の readme.txt を参照してください。

MRC-UTILITYはWindows9x/ME/NT/2000/XP 対応ソフトです。

- 1)本体前面の DIPスイッチを全て OFF(下)にします。
- 2) MRC-UTILITY を起動します。画面 が表示されます。

画面

器パスワード入力 X MRC-Utility Ver 1.0
パスワード COMボート
CON 1
自動検出
接続

- 3)パスワード(デフォルト:0000)を入力し、COMポートを選択します。
- 4)「接続」ボタンをクリックします。画面 が表示されます。 接続に失敗した場合は、本体後面のRESETスイッチを押して、再度実行し てください。

F/F 3+7-加速		パスワード東京
F 7KLA	192.181.1.3	9,100-FRE
\$57++++++++++++++++++++++++++++++++++++	255.255.255.0	
FD#&#&~#</td><td>182.183,1.254</td><td>(a753)2 (0</td></tr><tr><td>TELNET Part</td><td>EA</td><td>(1) (14(4))(1(1))</td></tr><tr><td>TELNETHIN</td><td>合 和助 作 帮助</td><td>※兼保-治 パーパー</td></tr><tr><td>2046通信通常</td><td>2600</td><td>1/274110</td></tr><tr><td>·##\$\$17~</td><td>10</td><td>MIC Adress</td></tr><tr><td>P0019</td><td></td><td>00.09 EE 00 4800</td></tr><tr><td>-states</td><td></td><td>ROM Ver</td></tr><tr><td>2004/1 3</td><td>A208 (B) 2004 49/9</td><td>LT-SEES Ver 3.18.04</td></tr><tr><td>10 206419-3</td><td>月20日(日) 2084 49分</td><td>SRIEFTARE</td></tr><tr><td>MIPERE</td><td>© #Ribt </td><td>日期モンティル体帯</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(1445) (1445)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>		

5) NTP 設定

「NTP 設定」ボタンをクリックし、画面 を表示します。 NTP アドレスに NTP サーバの IP アドレスを入力します。 「閉じる」ボタンをクリックし、登録します。 NTP を利用する時間を設定します。 詳しくは、P.30「3.スケジュールの設定」参照

2.基本設定 1 の内容入力

1) TCPIPネットワーク設定

本機のネットワークに関する設定をします。

	•
・IPアドレス	デフォルト:192.168.10.1
・サブネットマスク	デフォルト:255.255.255.0
・デフォルトルート	デフォルト:192.168.10.2
•TELNET Port	デフォルト:23
・TELNET 機能 1	デフォルト:有効
・COM 通信速度	デフォルト:9600
・無通信タイマー 2	デフォルト:120(秒)
	設定可能値:0~3600

1 TELNET機能:TELNET サーバプログラムでの制御機能

- 2 無通信タイマー: TELNET 及び MRC-MANAGER の自動切断時間
- 2)時刻設定

「時刻合せ」ボタンをクリックします。 接続している PC の時刻に設定されます。

3)パスワード設定

パスワードは半角英数字16文字以内で設定できます。

デフォルト: 0000

「パスワード変更」ボタンをクリックし、画面 を表示します。 画面

パスワードを2回入力してください
208
変更 キャンセル

新しいパスワードを2回入力します。

「変更」ボタンをクリックし、登録します。

4) セキュリティロック

セキュリティロック機能を使用する場合にチェックを入れます。 パスワード入力を猶予回数間違えるとセキュリティロックがかかり、待機時 間操作ができなくなります。

- 猶予回数デフォルト:0設定可能値:0~255待機時間(分)デフォルト:0設定可能値:0~3600
- 5)「適用」ボタンをクリックし、設定内容を保存します。
- 6)「設定初期化」ボタンは、全ての設定値を工場出荷値に戻します。
- 7)「設定ファイル保存」ボタンをクリックします。 現状の設定をファイルに保存します。
- 8)「設定ファイル読込」ボタンをクリックし、「設定ファイル保存」で保存した ファイルを選択すると、本機を保存した設定ファイルの内容に変更すること ができます。

注意 設定後は、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。 「適用」ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

3.基本設定 2 の内容入力

OFF遅延.1(秒) 電源 OFF動作後、シャットダウンに移行するまでの時間。 OFF遅延 1 タイマー動作中は電源 ON 動作で、電源 OFF 動作を キャンセルできます。

デフォルト:0 設定可能値:0~3600

シャットダウン(秒)

電源 OFF動作確定後、OUTLETに電源供給を停止するまでの時 間。シャットダウンタイマー動作中は電源 OFF動作をキャンセル することはできません。詳細は第5章 シャットダウン参照。

デフォルト:0 設定可能値:0~3600

リセット(秒)

OUTLETに電源供給を停止してから開始するまでの時間。

デフォルト:8 設定可能値:0~3600

ON遅延(秒)

電源 ON動作後、OUTLET に電源供給を開始するまでの時間。

デフォルト:0 設定可能値:0~3600

UPSと連携してお使いのときは、「UPS 接続」にチェックを入れます。 詳しくは、P.52「第6章 無停電電源装置(UPS)との連携」参照

3)本機の構成を設定します。

電源障害信号の極性を選択します。 シャットダウン機能をご利用する場合に必要です。シャットダウンをさせる 接続機器(パソコンなど)の信号極性と本機の信号極性を合わせます。 パソコンのシャットダウン設定は P.46「第5章シャットダウン」を参照し てください

デフォルト:負

- 4)常時ONモードは電源制御のONとリセットのみ有効となるモードです。
 必要があればチェックをいれます。
- 5)「適用」ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

注 意 設定後は、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。 「適用」ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

動作タイムチャート 画面

画面				
MRC-Utaty Ver 10				8
OUTLET 3-17-BR	•			
No OFFICE	24918522	9251	OWER	
10	ş	P.	0	
2 10	5	1	0	
1 10	6	<u> </u>	0	
10	P	p	P	
3-90-905 10-99-10-9	CE P	8		
C MINIMONEUIZ:	ноаннасын 1	cata è		
基本部位1 基本部位1 Copyright 20	IN MERVO ELECT	NALINE	en	107

電源ON 動作



4. 詳細の内容入力

1)「詳細」のタグをクリックします。画面 が表示されます。 画面

EMP7FL/Z	121 59	2.11	化香料器	 4h 	6
0.1.0.9	4	1	2	POR	1
8,1,0,8	4	0	2	NOR.	
0.1.0;0	4	1	2	POR	×
9.1.0.3	4	1	2	1000	_
		- C	1.	1 mm	-
INCLUDING D IRTE Ne On LAN FURITES MAG 7/12-7	NTREAM	1000 - 51 / 121		Tree	1
NOCIONA PTE NO DI LAN TURIT S MAG TITU Z COI DI COI	KTROAT			Tree.	1
RACE-HERRAL REC: LAN RUBERS MAGE TIPLES MAGE TIPLES DE COLLAN RUBERS DE COLLAN RUBERS				Tree	1
Introduction 1				Iner	1
NAC: 111000 1 NAC: 7191-72 NAC: 7191-72 NAC: 7191-72 NAC: 7191-72	1.000000000000000000000000000000000000	11 11 11 11 11	EMBE-10	Pen	1

2) PING 監視の設定をします。

PING 監視機能について

監視IPアドレスに対し、設定した時間(デフォルト:1分)間隔でPING を実行し続けます。PINGの応答が(待機)条件の設定回数内で(待機)回数な い場合に異常と判断し、設定された動作を実行します。

監視IPアドレス

監視するデバイスの欄にそのIPアドレスを入力します。入力されたア ドレスに対して、状態確認のPINGを実行します。

(待機)回数

状態異常を判定する PING 無応答の回数を設定します。

デフォルト :4 設定可能値 :1~255

(待機)条件

(待機)回数の判定範囲を PING 実行回数で設定します。

 デフォルト : 0
 PINGの応答が(待機)回数連続してない 場合に異常と判定します。
 設定可能値 : 1~255
 PINGの応答が(待機)条件で設定した回 数内で(待機)回数ない場合に異常と判定 します。 応答(待機)時間

PING 実行から応答までの待機時間を設定します。設定された時間が PINGの応答/無応答の判断時間となります。

PINGの送信間隔より短い時間を設定します。

デフォルト : 2(秒)設定可能値 : 1~3600

PING送信間隔

PINGの送信する間隔を設定します。 応答(待機)時間より長い時間を設定します。

デフォルト :1(分)設定可能値 :1~255

3) Wakeupの設定をします。

Wakeup機能について

電源出力開始と同時に MAGIC PACKET を送信し、Wakeup ON LAN 対応の機器をブートアップさせます。

「Wake ON LAN を利用する」にチェックを入れます。

MACアドレス

ブートアップさせるデバイスのMACアドレスを入力します。

送信回数

MAGIC PACKET の送信回数を入力します。

デフォルト :5 設定可能値 :1~255

送信間隔

MAGIC PACKET の送信間隔を入力します。

デフォルト :10(秒) 設定可能値 :1~255

4)「適用」ボタンをクリックします。設定内容を保存します。

注 意 設定後は、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。 「適用」ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

5. 電源制御

1)「電源制御」のタグをクリックします。画面 が表示されます。 画面

GED IN (M)	Outlet 2	Outiet 3	Date: 4	2.10	
ON	ON	ON	ON	ALL OFF	
OFF	OPT	OFF	OPF	ALL RESET	
C. MESSIL	- NEAR	meses	nesel		
				PILIT LTLA	
				PiLIT LITI A.M.	
				Pilot Linikus We	
				Pillet Lonikus 	
				Pillet Lankad	

2)制御するアウトレットのボタンをクリックします。

全制御操作ボタンの動作

各アウトレットの個別制御が一斉に開始されます。 設定時間が同じアウトレットは若い番号が優先されて動作します。

画面上のステータス表示

グリーン	:	電源 ON
イエロー	:	OFF 遅延時間中
レッド	:	シャットダウン中
グレー	:	電源 OFF

OFF 遅延時間中に「ON」ボタンをクリックすると電源 ON 状態に戻りますが、シャットダウン中は電源 ON 状態に戻りません。

3) PILOT LED 点滅

「停止」 :本体 PILOT LED の点滅を停止します。

6. MAIL 設定

1)「MAIL 設定」のタグをクリックします。画面 が表示されます。 画面

	24
ショールは自然を開ける 日本	相關和正 送出时将森林
■ STHPサーバー協定	■ 液体条件の認定
11日サーバーアドレス 単10.11.0	単実換 17 コアンドでの動作
Fige #-A/TFL/X	C 20203-10-000019
POP3EEEETO	IN FIRE COMITE
■ POP0サー1T-設定	C CARA (COR)
PORT #-//- 7FL2 0.0.1.0	CTICA P OFFICE BOD
1073 2-9-10	P RESETTIN (POR)
P0#3/17/7-F	D MASTER ONES INFORD
HUR	
CORF - WYYUX	■ 報酬の電源投入時
A CONTRACT	E #2#12/14 (8007)
A-ADPEAS	■ UPS電源I检查
P-ATTEX :	F TATA BILL A MONTH
9-A-7FL-74	F Exit Miles on
システム宅府 (半角賞語 30前)	O TURB CORRECT O
5295a時	
THEY AND THE TRUE WAS	unes [
ARTICLE REALIZED REAL REAL PROPERTY AND	408) MR [167

2)「メール送信を利用する」にチェックを入れます。

3) SMTP サーバに関する設定をします。

- ・SMTP サーバアドレス
- ・From メールアドレス

インターネットに接続できる環境で、SMTP サーバアドレス欄に SMTP サーバ名称を入力し「IP 変換」ボタンをクリックすると、SMTP サーバアドレスに変換できます。

- 4) POS3 承認を行いメール送信する場合は「POS3 承認を行う」にチェックし POP サーバに関する設定をします。
 - ・POP3 サーバアドレス
 - ・POP3 ユーザーID
 - ・POP3 パスワード

インターネットに接続できる環境で、POP3 サーバアドレス欄にPOP3 サ ーバ名称を入力し「IP 変換」ボタンをクリックすると、POP3 サーバアド レスに変換できます。

5)送り先メールアドレスを設定します。 送り先は4ヶ所まで設定できますが、メールアドレス.1は必ず設定してくだ さい。

- 6)システム名称を設定します。
 - 半角英数字 30 文字以内で設定できます。 メール送信者の欄に記入されます。
- 7)送信内容条件を設定します。 送信条件の設定 基本的な条件を選択します。
 - ・コマンドでの動作
 ・コマンドライン入力または操作ボタンによる電源動作
 ・スケジュールでの動作
 ・PING での動作
 ・PING 監視機能による電源動作

送信項目の設定

電源操作や動作などの項目を選択します。MASTER ON/OFF については P.34「6.コマンドライン一覧」参照してください。

・ON 時	(PON)
・OFF 時	(POF)
・RESET 時	(POR)
・MASTER ON 時	(MPON)
・MASTER OFF 時	(MPOF)

と で選択された条件で電源が動作したときにメールを送信します。

本機の電源投入時 本機に電源が投入されたときにメールを送信します。

・電源投入時 (BOOT)

UPS 電源障害

UPSと連携してご使用の場合に選択します。 選択された信号や動作が発生したときにメールを送信します。

・電源障害 (UPS PF)
 ・ローバッテリ (UPS LB)
 ・正常復帰 (UPS OK)
 ・シャットダウン (SHUT O)

UPS の信号によって発生するシャットダウンに限ります。

8)詳細の設定をします。

必要があれば詳細設定をします。「詳細設定」ボタンをクリックします。

- ・STMPポート
- ・STMPタイプ
- ・POP3 ポート
- ・POP3 認証待ち時間 デフォルト: 0.3(秒)
- ・メール送信間隔(分) デフォルト:1(分)

第3章 デバイスの制御 (LAN 接続)

1. MRC-MANAGERの設定

MRC-MANAGER は複数のLT-3000を一元管理できるユーティリティです。 スケジュール運転と手動による遠隔電源操作ができます。

設定前の確認

設定用 PC と本機を LAN で確実に接続してください。 MRC-MANAGER を PC にインストールしてください。 インストール手順は添付 CD の readme.txt を参照してください。 MRC- MANAGERはWindows9x/ME/NT/2000/XP対応ソフトです。

1) MRC-MANAGER を起動します。画面 が表示されます。 画面

	NULLIN GR.	A DESCRIPTION OF
140397-988 953-537		11時 45分
	**************************************	102, 158, 0, 1
6.1		2. Http:
6.3		-1,5%5
988年-東京都市の開産され 「動作開産の表示 電源時代市のいわいの新に新 「時代報告の表示	nuar. Daītelar.	
Construction of the second	C and	<u>v</u>

2) 各項目を入力します。 本機設定の登録

機器名称

管理しやすいように名前をつけます。 IP アドレス (必須)設定した本機の IP アドレスを入力します。 Port (必須)設定したポート番号を入力します。

OUTLET 名称

管理しやすいように名前をつけます。 各アウトレットに接続している機器の判別ができます。

動作履歴の表示

チェックすると接続時に、直前の電源動作履歴を表示します。

操作確認の表示

チェックすると電源制御操作ボタンで電源のクリック時に操作確認の表示 をします。

セキュリティ パスワードを入力します。

デフォルト :0000

「パスワード手動入力」

接続時にパスワード要求をさせる場合は、チェックを入れます。

機器の時間調整

 手動 : MRC-UTILITY の「基本設定 1」または MRC-MANAGER の「動作設定」で時刻を合せます。
 詳しくは P.16「時刻設定」(MRC-UTILITY) または P.32「時刻設定」(MRC-MANAGER)参照
 自動 : MRC-MANAGER で接続するごとに PC の時刻に合せます。

デフォルト :手動

3)「登録」ボタンをクリックします。

内容が登録保存されます。画面 が表示されます。

画面

福島の条件	サブドレス	一次勝つ	Riveral I	-	Rassil
THE REPORT OF THE PARTY OF THE	DECISION A	0000	86789 14195		29041
				120	(月4日(水)
-					1449, \$19
					HC IF
		_			197, 968, 1, 11
-				- 12	and a second sec
				-11	-
				114	
		-		- 11	
		_		118	13 100010
		-		114	TH MEMORY
				10	TT HERE
				118	
				10	
				13 H	
				AL.	
		Instanting 1	and the second s	1237	Contraction of the

- 4) 複数の LT-3000 の登録する場合は、登録したい番号の機器名称欄を選択し 「編集」ボタンをクリックします。画面 が表示されます。
- 5)1)の作業を繰り返し行ないます。

MRC-MANAGERの登録後は画面 が初期画面となります。

2. 電源の制御

MRC-MANAGERの設定後は画面 が初期画面となります。

1)制御する機器を選択し、「接続」ボタンをクリックします。 画面 が表示されます。MRC-MANAGERの設定で「パスワード手動入力」 をチェックした場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを

入力し「決定」ボタンをクリックします。

画面

Custored	(H-MAN		_	2085年 4月 4日1月
6.1	1 11	017	NO INTEL	1443 (17)
6 Z .	11 11 194	0101	The sector	18, 18, 1, 1
4.3	10 10 10	1	Meseret.	IS CONTRACTOR
224	1 10	011	THE RESET	
	CA SHAIL			
	11.0			-
161 IN	141.07	TPA	L RESET	
		COLUMN STOR		

2) 制御するアウトレットのボタンをクリックします。

個別制御操作ボタンの動作

RESET : RESET 動作

全制御操作ボタンの動作

各アウトレットの個別制御が一斉に開始されます。 設定時間が同じアウトレットは若い番号が優先されて動作します。

画面上のステータス表示

グリーン	:	電源 ON
イエロー	:	OFF 遅延時間中
レッド	:	シャットダウン中
グレー	:	電源 OFF

OFF 遅延時間中に「ON」ボタンをクリックすると電源 ON 状態に戻りま すが、シャットダウン中は電源 ON 状態に戻りません。

3. スケジュールの設定

1)「スケジュール」のタグをクリックします。画面 が表示されます。 画面



2) スケジュールを設定します。

日付指定か曜日指定か選択します。

日付指定・・・・・月日でスケジュール設定します。 曜日指定・・・・・毎日または曜日でスケジュール設定します。 「祝祭」:祝祭日指定(日曜日は含みません。)

「日付」または「曜日」、「時間」、「No.」、「動作」を設定します。 スケジュールマスクは ON /OFF/ RESET の動作を無効にします。

動作内容 ON : 指定したアウトレットの ON 動作 OFF : 指定したアウトレットの OFF 動作 RESET : 指定したアウトレットのリセット動作 SON : スケジュールマスク開始 SOF : スケジュールマスク解除 NTP : NTPサーバ

「追加」ボタンをクリックします。 設定内容に「*」印が付いてスケジュールリストに表示されます。

スケジュールを と を繰り返して設定します。

「転送」ボタンをクリックします。 本機にスケジュール内容が登録され「*」印が消えます。

注 意 同日の同時時刻に上書き登録は出来ません。

3) スケジュールの書き換え

書き換えるスケジュールをスケジュールリストより選択します。

「日付」または「曜日」、「時間」、「OUT」、「動作」を新たに設定します。

「書換」ボタンをクリックします。 スケジュールの頭に「*」印が付きます。

書き換えが複数ある場合は、 、 、 を繰り返します。

「転送」ボタンをクリックします。 本機にスケジュール内容が登録され「*」印が消えます。

4) スケジュールの削除 削除するスケジュールをスケジュールリストより選択します。

> 「削除」ボタンをクリックします。 スケジュール番号の表示が「----」に変わります。

削除が複数ある場合は、 、 を繰り返します。

「転送」ボタンをクリックします。 本機にスケジュール内容が登録され、削除設定されたスケジュールがス ケジュールリストから消えます。

- 5)スケジュールの確認 「再読込」ボタンをクリックします。 本機に登録されているスケジュールリストを読み込んで表示します。
- 6)スケジュールの保存
 「スケジュールの保存」ボタンをクリックします。
 本機に登録されているスケジュールリストをファイルに保存します。
- 7)スケジュールの読込

「スケジュールの読込」ボタンをクリックします。

スケジュールファイルを選択します。 スケジュールの頭に「*」印が付きます。

「転送」ボタンをクリックします。 本機にスケジュール内容が登録され「*」印が消えます。

8)特定指定の設定

毎月 xx 日、または xx 月だけというような特定日を登録できます。

日付指定を選択します。

「日付」の「月」か「日」を「0」にします。 「曜日」が「特定」に変わります。

毎月 xx 日 「月」を「0」 xx 月 「日」を「0」

スケジュールを設定の 「日付」と「曜日」以降を設定します。

4. 動作設定

1)「動作設定」のタグをクリックします。画面 が表示されます。 画面



2)時刻設定

「更新」	:現在の時刻に表示を更新します。
「PC の時間に合わせる」	:本機の時刻を PC の時刻に合わせます。

3)動作履歴

「表示」:直前の動作履歴を表示します。

4) PILOT LED 点滅

「停止」 :本体 PILOT LED の点滅を停止します。

5. TELNET 接続による制御

LT-3000 は TELNET サーバプログラムへ接続して、遠隔から電源制御および 状態取得ができます。TELNET サーバプログラムに接続するTCPポート番号 は「23」(デフォルト)です。

1)「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックス を開きます。

「TELNET__ "本機のIPアドレス"__23」を入力します。 アンダーバーはスペースを意味します。

2) プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

220 23 LT-3000 version 3.00 MEIKYO ELECTRIC CO.,LTD. 2003 221 00:09:EE:xx:xx:xx 00:LT>

3)制御コマンドを入力し、< ENTER >キーで実行します。

制御コマンド構成

* # × × × ×

: パスワード ×××× : 制御コマンド

例)アウトレット1番をオンします。 (パスワードデフォルト:0000)

> 00:LT> * 0000#PON1 <ENTER> * 00:OK 00:LT> * 00:POS=100,000,000 00:LT>

4)終了コマンド「Q」を入力し、< ENTER >キーで実行します。

00:LT> * 0000#Q	<enter></enter>
BYE	

PONn (コマンド長 4) Power ON

機能 指定されたアウトレットを ON する。
パラメータ n 1~4:アウトレット番号
0 :すべてのアウトレット
応答 *00:OK 正常受付
*00:Err エラー
*00:Locked セキュリティロック中
*00:POS=xxx,xxx,xxx POS のステータス応答

動作内容

基本的に即時に機能しますが、各アウトレット間は約1秒の間隔があきます。 複数のアウトレットに PON を行った場合、若い番号がつねに先 ON になり ます。アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。

制限

OFF 遅延時間中に PON を受信すると、その動作を中止し、シャットダウン 信号を復帰させ、LED の点滅を中止し、元の PON の状態に復帰します。 シャットダウン時間中に PON は無視されます。

POFn (コマンド長 4) Power OFF

機能	指定されたアウトレットを O	FFする。
パラメータ	n	1~4:アウトレット番号
		0∶すべてのアウトレット
応答	*00:OK	正常受付
	*00:Err	エラー
	*00:Protected	常時ON モードによる POFF 禁止中
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:POS=xxx,xxx,xxx,xxx	POS のステータス応答

動作内容

OFF 遅延時間,シャットダウン時間後にアウトレットの電源が切れます。ア ウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。リセット中のアウ トレットに対して POF を実行しても無視されます。常時 ON モード中に POF を実行しても無視されます。 PORn (コマンド長 4) Power RESET

機能	指定されたアウトレットを RESET する。			
パラメータ	n	1~4:アウトレット番号		
		0 :すべてのアウトレット		
応答	*00:OK	正常受付		
	*00:Err	エラー		
	*00:Locked	セキュリティロック中		
	*00:POS=xxx,xxx,xxx,xxx	POS のステータス応答		

動作内容

アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。

MPOF (コマンド長 4) Master Power OFF

機能

マスター電源を OFF する。 メーターなし

パラメータ	なし	
応答	*00:0K	正常受付
	*00:Err	エラー
	*00:Protected	常時ON モードによる POFF 禁止中
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:POS=xxx,xxx,xxx,xxx	POS のステータス応答

動作内容

OFF 遅延時間,シャットダウン時間後にアウトレットの電源が切れます。 アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。

マスター電源について

マスター電源 OFF は全ての電源出力停止後、電源操作に関するコマンドを 無視します。

MPON (コマ	ンド長 4) Master Power	ON
機能 パラメータ	マスター電源を ON する。 なし	
応答	*00:OK	正常受付
	*00:Err	エラー
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:POS=xxx,xxx,xxx,xxx	POS のステータス応答

動作内容

基本的に即時に機能しますが、各アウトレット間は約1秒の間隔があきます。 アウトレット状態が変わった時は POS の応答を返します。 POS (コマンド長 3) POwer Status

指定された本機の現在の状態を返す。 機能 パラメータ なし 応答 *00:POS=nXX,nXX,nXX,nXX (アウトレット 1~4 を順番に CSV 出力) n=0 OFF n=1 ON n=2 シャットダウン中 n=3 リセット中 n=4 ウォッチドッグ中 n=5 ON 待機時間待機中 n=6 OFF 遅延時間待機中 XX n=2 の時 シャットダウン処理の OFF までの残分数 n=3 の時 リセット処理の ON までの残秒数 n=6の時 POF 待機処理の残分数 *00:Locked セキュリティロック中 *00:Err エラー

BSTOP (コマンド長 5) Blink STOP

機能	PILOT LED の点滅を止め	る
パラメータ	なし	
応答例	*00:OK	正常受付
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:Err	エラー

DT (コマンド長 2) Date Time

機能	内部 RTC の現在日時を返	す。
パラメータ	なし	
応答例	*00:DT=2000/09/12	Mon 23:45:00
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:Err	エラー

DTn (コマンド長 15~17) Date Time

機能 内部 RTC の日時を変更する。

パラメータ	n	13桁	または 15	桁の日	時データ		
		13桁	yyyym m	ddwH	НММ		(年月日時分)
		15 桁	yyyym m	d d w H	HMMSS	3	(年月日時分秒)
			уууу	年			
			mm	月			
			dd	日			
			W	曜日	日曜日	= ()
					月曜日	= 1	1
					:		
					土曜日	= 6	6
			ΗН	時			
			MM	分			
			SS	秒			

日付は2000年1月1日~2099年12月31日の範囲。 秒を省略した場合は 00 秒であるとして処理する。 曜日欄を .,? のいずれかにしておくと自動計算。

応答	*00:0K	正常受付
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:Err	エラー
	例 1)	2000年9月12日土曜日 23:45
		DT2000091262345
	例 2)	2000年9月12日土曜日 12:34:56
		DT200009126123456

NTP 利用

n に NTP を指定する。R220 で指定した NTP サーバに時刻情報を要求 し、その時刻で設定を行なう。

例) *0000#DTNTP

R220 に NTP の IP アドレスが設定されていない場合はエラー。

応答 *00:OK 00:LT> *00:DT=2004/04/12 MON 23:45:00 正常受付 *00:Locked セキュリティロック中

*00:Err エラー

WDSn (コマンド長 4) Watch Dog Start

機能	ウォッチドッグモードを開始	台します。
パラメータ	n	1~4: アウトレット番号
		0 : すべてのアウトレット
応答	*00:0K	正常受付
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:POS=xxx,xxx,xxx,xxx	POS のステータス応答

動作内容

レジスタR110 が指定した時間以内に次の WDC または PON を受信しない と POR 状態に切り替わります。

機能 ウォッチドッグモードのカウンタをリセットします。 パラメータ n 1~4:アウトレット番号 0 :すべてのアウトレット 応答 *00:OK 正常受付 *00:Locked セキュリティロック中 *00:POS=xxx,xxx,xxx POSのステータス応答

WDCn (コマンド長 4) Watch Dog Clear counter

動作内容

進行した内部ウォッチドッグ待機カウンタを0にリフレッシュします。 このコマンドを実行することで、再びレジスタR110の時間の待機が継続されます。ウォッチドッグを解除したい場合はPONを実行します。

PRESnn (コマンド長 6~) schedule Program RESET

機能	スケジュールプログラム機能の設定を解除します。		
パラメータ	nn	PLIST で表示される 2 ~ 3 桁の番号	
応答	*00:0K	正常受付	
	*00:Locked	セキュリティロック中	
	*00:Err	エラー	

PCLR (コマンド長 4) schedule Program CLeaR

機能	スケジュールプログラムを全消去します。		
パラメータ	なし		
応答	*00:OK	正常受付	
	*00:Locked	セキュリティロック中	
	*00:Err	エラー	

LOGn (コマンド長 4) LOG

機能	指定されたアウト	~レットの直前の LOG を返す。
パラメータ	n	1~4:アウトレット番号
応答例	LOGn=	1998/09/12 Sat 09:05 ON
	LOGn=	1998/09/14 Mon 12:34 OFF
	LOGn=	1998/09/02 Wed 20:00 RESET
応答	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:Err	エラー

LLIST (コマンド長 5) Log LIST LL (コマンド長 2) Log List

機能 LOG一覧を返す。 パラメータ なし

ハフメータ	な し
応答例	LLIST=
	2002/04/01 Mon 12:34 PON0 K
	2002/04/01 Mon 12:34 PON1 O
	2002/04/01 Mon 13:00 POR1 S
	2002/04/01 Mon 13:00 POF1 O
	LOGLIST END
応答	応答 Locked セキュリティロック中
	応答 Err エラー
	BOOT 機械の電源投入
	PONx 電源 ON
	POFx 電源 OFF
	PORx 電源リセット
	MPON マスター電源 ON
	MPOF マスター電源 OFF
	К コマンド入力
	S スケジュール実行
	P PING 監視動作
	Ο アウトレット動作

PSETnnnn~ (コマンド長) Program SET

プログラムスケジュール機能の設定を行ないます。 機能 パラメータ 時刻 日付(月/日 形式) または S 曜日(0=日, 1=月, ... 6=土) 処理(PON/POF/POR/MPON/MPOF) · (SON/SOF) (カンマで区切って記述する。時刻と処理は必須で、それ以外 は省略可能。但しカンマは全て省略不可である。) SOF: スケジュール一時停止 SON: スケジュール再開

書式例

PSET12:34	4, 12/31,1,PON1	12/31 (月)の 12:34 に実行
PSET12:34	4,,,PON 1	毎日 12:34 に実行
PSET12:34	4,,w,PON1	w 曜日の 12:34 に実行
PSET12:34	4,12/31,,PON1	12/31の12:34 に実行
PSET12:34	4,3/?,w,MPOF	3月中の w曜日の 12:34 に実行
PSET12:34	4,,,SOF1	毎日 12:34 にスケジュールー時停止
応答	*00:0K	正常受付
	*00:Locked	セキュリティロック中
	*00:Err	エラー
	*00:FullMemory	既に満タンで格納できない。
	*00:Doubled	同じ時刻・日付が重複していて格できない。

動作内容

指定した時刻に、指定した動作(PONx/POFx/PORx.MPON.MPOF)を行な います。またスケジュール機能の一時的 ON·OFF(SON,SOF)を行ないます。 毎日指定時刻の動作以外にも、毎週動作、毎月動作、指定日時のみの動作が 設定可能です。時刻と処理は省略できませんが、日付、曜日は、省略するこ とができます。但し、コマンド区切りのカンマは略記できません。月日は、 月だけ、または日だけの指定が可能です。日付を S で指定すると 2045 年 までの祝日を含む年間カレンダーが設定出来ます

PLIST (コマンド長 5) schedule Program LIST (コマンド長 2) schedule Program List PL スケジュールプログラム機能の設定状態を確認します。 機能 パラメータ なし 応答例 *00:PLIST= PL00=PON1 01/01 00:00 All (日付時刻指定時) 00:00 Fri (曜日時刻指定時) PL01=PON1 PL02=PON1 ??/01 00:00 All (毎月1日時刻指定時) -- PLIST END --

Rn (コマンド長 3) Register

機能 指定されたレジスタの値を返す。
 パラメータ n レジスタ番号
 応答例 *00:R100=0000
 *00:Locked セキュリティロック中
 *00:Err エラー
 工場出荷値 別表参照

Rn=m (コマンド長 4~) Register

機能 指定されたレジスタの値を変更する。 パラメータ n レジスタ番号(16 ビット 16 進数) m 引数 応答例 *00:OK 正常受付 *00:Locked セキュリティロック中 *00:Err エラー

Q (コマンド長 1) Quit

機能 終了します。 パラメータ なし

第4章 デバイスの制御 (シリアル接続)

1. 本機とモデムの接続

モデムや TA を利用して構築されたシリアル通信のシステムでも遠隔電源操作が できます。LAN と併用しての使用もでき大変便利です。

接続前の確認

モデムや TA の電源を OFF にしてください。または電源コードをコンセントから抜いてください。

本機の電源が入っていないことを確認してください。



- 1)本体後面の COM.1 とモデムを RS232C ケーブル (ストレート)で接続し ます。
- 2)本体後面の DIP スイッチ No.2 を ON (上)にします。 モデムのご利用時は常にこの位置にしておきます。
- 3)本機とモデムあるいは TA の電源コードをコンセントに根本までしっかりと 差し込みます。

注 意 モデムあるいは TA の電源コードは本機のコンセントには差し込まないでください。誤動作する恐れがあります。

2. シリアル接続の設定

MRC-MANAGER(S)はモデムや TA でシリアル接続された LT-3000 を一元 管理できるユーティリティです。シリアル通信よる遠隔電源操作ができます。

設定前の確認

ज्ज क

モデムや TA と本機をシリアルで確実に接続してください。 MRC-MANAGER (S)を PC にインストールしてください。 インストール手順は添付 CD の readme.txt を参照してください。 MRC- MANAGER(S)は Windows9x/ME/NT/2000/XP 対応ソフトです。

1) MRC-MANAGER(S)を起動します。画面 が表示されます。

Print, Partitionality	and the second second second			-
Selection of the	HILDHARK	and the second second		1000
HERE OR H	ERATERN	C#297-	- P	21日本 6月10日(人) 14時 18分
Noci Moci Martanuo	()e <u> </u>	* 株式日本四日 「「 / 12.0- 日時後別」 「 トーツ	е РФФАЛ	17 46 47 (C)
16.1 16.4		MICENT AT	00124214	中國集团
 ・市政府の工業所動作 ・「教育部語の書 ・電源事件すること ・「教育部語の書 ・「教育部語の書 ・「教育部語の書 ・ ・ ・	ichiesafilet. F Hothichiestselet. F	072 de (35430	n oast Nie oast	
			The same	(10 18 7 (a)

2)各項目を入力します。
 本機設定の登録

機器名称	管理しやすいように名前をつけます。
電話番号	(必須)接続先の電話番号を入力します。
СОМ	(必須)設定したポート番号を入力します。

OUTLET名称

管理しやすいように名前をつけます。 各アウトレットに接続している機器の判別ができます。

動作履歴の表示

チェックすると接続時に、直前の電源動作履歴を表示します。

操作確認の表示

チェックすると電源制御操作ボタンで電源のクリック時に操作確認の表示 をします。 セキュリティ パスワードを入力します。

デフォルト :0000

「パスワード手動入力」 接続時にパスワード要求をさせる場合は、チェックを入れます。

回線種別

ご利用の回線に合せて選択します。

MODEM 初期化コマンド ご利用の TA やモデムの仕様に合せて設定します。

DTE速度(bps)

本機とモデムの通信速度です。通常はこのままお使いください。

3)「登録」ボタンをクリックします。

内容が登録保存されます。画面 が表示されます。 画面

	秘格长杆	電話委号	108	10000 a	1010111
HIN		Contraction of the		06,710 142,87	28334
					(月1)日(3)
			-		1443 3653
-					
					-
					2 法约位
					- 10011
11					-0-100 th (C
		_	-		
		_			日和時低
			-		100000000000000000000000000000000000000
			-		
10					
					E I I
1.11		In the state of the	ALC: NO.	Contract of the last	

4) 複数の LT-3000 の登録する場合は、登録したい番号の機器名称欄を選択し 「編集」ボタンをクリックします。画面 が表示されます。

5)1)~3)の作業を繰り返し行ないます。

MRC-MANAGER (S) の登録後は画面 が初期画面となります。

「電源の制御」、「動作の設定」は MRC-MANAGER と同じです。 詳しくは P.29「2.電源の制御」P.32「4.動作設定」参照

第 5 章 シャットダウン

1. パソコンの接続

シャットダウン機能により、接続された機器の OS を正常に終了させてから本機 の電源出力を停止できます。この機能を利用して、コンピュータの管理や遠隔地 からのリモート通信などが容易にできるようになります。

1)付属のシャットダウンケーブル(XH-7610)で、本機とパソコンを接続し ます。パソコンの電源ケーブルも本機に接続します。





2. パソコンの設定

パソコンのシャットダウン設定をします。 本機の信号極性とパソコンの信号極性を合わせます。

本機の電源障害信号極性について 詳しくは P.18「3.基本設定2の内容入力」参照 詳しくは P.54「2.初期設定」参照

パソコンの電源障害信号極性について シャットダウン・ソフトを利用して設定します。

 Windows 98/ME
 : 添付ソフト「MRC-SHUTDOWN」

 Windows NT/2000/XP
 : 標準 UPS サービス

 LINUX
 : 電源障害信号に対応したソフトをご選択

 ください。

1) Windows 98/ME

MRC-SHUTDOWNをPCにインストールします。 インストール手順は添付 CDの readme.txt を参照してください。

Windows 2000/X P
 設定するパソコンの「コントロールパネル」を開きます。

「電源オプション」のアイコンをダブルクリックします。

「UPS」のタグをクリックします。

	1704DA	00004				
	期政定	the ups	1			
₩ ₩			中 冲电电声标道	CLIMBE C		
IFM MAで GU モデル 他にし 潮波の.	12	利益の変更 (中午の場本) (中午の場本) (中午の)(10)	5.00 (1) 5.00			
	IFid -					
		製造元 モデル・	09/L3	-	1	
Control 12. International and the first of the callest				distr.		MG)-
TO DO 2-EVINEMETCULAN		UPS サービス	は現在停止してい	a.a.		

詳細欄の「選択(<u>S)</u>」のボタンをクリックします。

「製造元の選択(S)」項目のリストから「一般」を選択します。

「モデルの選択(<u>M</u>)」で「カスタム」クリックして選択します。

「ポート(<u>P</u>)」項目のリストからコムポート番号を選択します。

LIPS (CHERT	<u> 718</u>
MERONERS	8-HD
-#t	. 004 .
ET/Add(En/Sp	
17.64	
	28×0023 4+62408
	(20080)

「次へ(<u>N</u>) >」のボタンをクリックします。

s ンジナルの植物 入 教育 ンジナルの相称	EEMIKTORIC G	PS (1923) 14-2 中国語(15	5
	0.8	ΘE	
T INTWEETU	C 1	e E	
T MAR DANHARDON	e =	# E.	
	(# 800)		

「電源障害/バッテリ駆動」にチェックを入れます。

各極性を LAN タップ と同じ極性に設定します。

正負の選択ができましたら、「完了」ボタンをクリックします。

UPS連携の場合は「バッテリの低下」も同じように設定します。

3) Windows NTの場合

設定するパソコンの「コントロールパネル」を開きます。

「無停電電源」のアイコンをダブルクリックします。

「無停電電源装置がインストールされているポート」にチェックを入れ、 コムポート番号を選択します。

「電源障害信号」にチェックを入れます。

制作電電源の構成	-	101/か-7+(2電圧	49246
A 重制使品信息(D)	9.8	C.E.	4#24B
「大学が容量量子接着し」	0.1	$\sigma \in$	
「北三十萬得電電源5+水4分5/B)	0.8	6 E	
「 37:水' フ+(Lを開行する/2)			
	UPL 1	ーゼス 変なら豊きかモージま	E Be

各極性を LAN タップ と同じ極性に設定します。

正負の選択ができましたら、「OK」ボタンをクリックします。

UPS連携の場合は「バッテリ容量低下信号」も同じように設定します。

第6章 無停電電源装置(UPS) との連携

1. 本機と無停電電源装置(UPS)の接続

停電が発生すると UPS から信号が出力されます。本機は UPS からの信号を受けて、シャットダウンインタフェースより各デバイスへ信号を出力します。

接続前の確認

UPSの電源をOFFにしてください。 本機の電源が入っていないことを確認してください。



- 1)本体後面の COM.1 と UPS を専用通信ケーブルで接続します。 専用通信ケーブルは弊社もしくは各 UPS メーカーにご相談ください。
- 2)本体後面 DIP スイッチ No.1 を ON (上)にします。
 UPS のご利用時は常にこの位置にしておきます。
- 3)本機の電源コードをUPSのACアウトレットに接続します。
- 4) UPS の電源出力を開始します。
- 5) パソコンの設定をします。 P.46「第5章 シャットダウン」参照

2. 初期設定

MRC-UTILITY で設定します。 詳細は P.14「第2章 初期設定」参照

1)「基本設定.2」を表示します。

2)「UPS 接続」にチェックを入れます。 画面 が表示されます。・・・・・・・・・・・・・・・P.55 参照

3) OUTLET タイマー設定をします。

電源制御時の各動作と設定時間の関係はタイムチャートを参照してください。 タイムチャート ・・・・・・・・・・・・・・P.19/P.66 参照

OFF遅延.3(秒)

電源 OFF 動作後、シャットダウンに移行するまでの時間。 OFF 遅延3 タイマー動作中は電源 ON 動作で、電源 OFF 動作をキャ ンセルできます。

デフォルト:120 設定可能值: 0~3600

OFF 遅延.4(秒)

電源障害発生後、シャットダウンに移行するまでの時間。 OFF 遅延3 タイマー動作中に電源障害が復旧すると自動で、電源 OFF 動作をキャンセルします。 デフォルト:120 設定可能值: 0~3600

シャットダウン(秒)

電源 OFF 動作確定後、OUTLET に電源供給を停止するまでの時間。 シャットダウンタイマー動作中は電源 OFF 動作をキャンセルするこ とはできません。

デフォルト:0 設定可能值: 0~3600

リセット(秒)

OUTLET に電源供給を停止してから開始するまでの時間。 デフォルト:0 設定可能值: 0~3600

ON遅延(秒)

電源 ON 動作後、OUTLET に電源供給を開始するまでの時間。 設定可能值: 0~3600 デフォルト:0

4)無停電電源の構成を設定します。

電源障害信号、バッテリ容量低下信号、無停電電源シャットダウンの極性を 無停電電源装置(UPS)と同じ極性に設定します。

5)「適用」ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

注意 設定後は、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。 「適用」ボタンのクリックがないと設定が反映されません。

UPS 接続時の各動作タイムチャート 画面

10	1	-	uesr	COURSE OF	18	199.
10	1			6	18	-
10	5	-	-	6	15	
4 10	15	1	- 0	6	15	
NUTUBRETIES	C I	6.8		構成下は月 第5/40十分で、	SE CE	-
ERHINGUNE/E/	CANNES	5127.				

電源 ON 動作





電源障害信号





レジスター覧

100	システム	基本設定	
R1(00	パスワード(MAX16 桁)	
		デフォルト:0000	
R1(. 01	パスワード(4 桁)	(LT-1500 互換モード用)
		デフォルト:0000	
R1 ′	10	WDS/WDC コマンド利用の	のウォッチドッグ待機時間
		デフォルト:0(秒)	設定可能値:0~3600
R1 ′	11 ;	起動時パワーON 待機時間	
		デフォルト:0(秒)	設定可能値:0~3600
R13	30	エコーバック設定	
		0=エコーバックなし	
		1=入力エコーバックあり(き	デフォルト)
		2=改行後エコーバックあり)
	:	3=LT-1500 風エコーバッ	ックあり

<u>140 シリアルタップ</u>

R140	RING 受信回数	
	デフォルト:1(回)	設定可能値:0~255
R141	無通信時間	
	デフォルト:5(分)	設定可能値:0~255
R142	ER断時間	
	デフォルト:8 (秒)	設定可能値:0~3600
R143	モデム初期化文字列(MAX 3	1 桁)
	АТ	
R144	RING 文字列(MAX 31 桁)	
	RING	
R145	CONNECT 文字列(MAX 3 ⁻	1 桁)
	CONNECT	
R146	NO CARRIER 文字列(MAX	31桁)
	NO CARRIER	

_170 電源管理______

R170	常時 ON モード	(0=通常	1=常時 ON)
	デフォルト:0		

<u>190 シリアル</u>

R190	COM 通信速度
	デフォルト:9600(bps)
	設定可能値:4800/9600/14400/19200/38400/57600
R191	シリアルデータ長(7/8)
	8 bit
R192	シリアルパリティ(0=なし 1=偶数 2=奇数)
	デフォルト:0
R193	シリアルストップビット (1/2)
	1 bit
R194	シリアルフロー制御
	0=X 制御 XON/XOFF
	1=S 制御 RS/CS
	2=R 制御 DR/ER(未対応)
	デフォルト :0

<u>200 ネットワーク設定</u>

R200	IP アドレス
	デフォルト:192.168.10.1
R201	サブネットマスク
	デフォルト:255.255.255.0
R202	ブロードキャストアドレス
	デフォルト:255.255.255.255
R204	IPv4 プライマリ DNS サーバアドレス
	デフォルト:0.0.0.0
R205	IPv4 セカンダリ DNS サーバアドレス
	デフォルト:0.0.0.0
R210	デフォルトルート
	デフォルト:192.168.10.2

0 0 0	51	1 ++	二、大鉄 全比
220	21	ムサー	八機能

R220	NTP の IPv4 アドレス
	デフォルト:0.0.0.0
R222	SNTP サーバ機能 (0=機能無効 1=機能有効)
	デフォルト:0

<u>250 リモートコンソール (未使用)</u>

R250	リモートコンソール (0=機能無効 1=機能有効	J)
	デフォルト:0	
R252	リモートコンソール ベースポート番号	
	デフォルト:9000	

<u>260 ネット諸機能</u> R260 PINC 送信問隔

00 F 7		
R260	PING 送信間隔	
	デフォルト:1(分)	設定可能値:0~255
	必ず R560 より大きく	すること

<u>270 TELNET コンソール(未使用)</u>

R270	TELNET コンソールログイン	(0=機能無効	1=機能有効)
	デフォルト:1		
R271	TELNET コンソールログイン	・ポート番号	
	デフォルト:23		

<u> 280 ネット関係設定 _____</u>____

R280	MTU (1501 以上指定不可)
	デフォルト:1500
R281	TTL
	デフォルト:32
R282	2MSL 設定 1 ESTABLISH 中
	120 秒
R283	2MSL 設定 2 ESTABLISH 以外
	120 秒
	MSL=Maximum Segment Lifetime=最大セグメント寿命
R284	(未使用)
R285	(未使用)
R286	(未使用)
R287	(未使用)

290 ネット特殊機能(未使用)

R290	TCP メッセージ文字列(14 文字)	
R291	EVIL パケットを受信しない(0=機能無効	1=機能有効)
	デフォルト:0	

300 シャットダウン時間設定

R300	アウトレット 1	
R301	アウトレット 2	
R302	アウトレット 3	
R303	アウトレット 4	
	デフォルト:0(秒)	設定可能値:0~3600

<u>320 リセット時間設定</u>

R320	アウトレット 1	
R321	アウトレット 2	
R322	アウトレット 3	
R323	アウトレット 4	
	デフォルト:8(秒)	設定可能値:0~3600

<u>340 電源 ON 遅延時間設定</u>

R340	アウトレット 1	
R341	アウトレット 2	
R342	アウトレット 3	
R343	アウトレット 4	
	デフォルト:0(秒)	設定可能値:0~3600

<u>360 OFF 遅延時間 1</u>

R360	アウトレット 1	
R361	アウトレット 2	
R362	アウトレット 3	
R363	アウトレット 4	
	デフォルト:0(秒)	設定可能値:0~3600

R400	アウトレット 1
R401	アウトレット 2
R402	アウトレット 3
R403	アウトレット 4
	デフォルト:00:00:00:00:00:00

<u>420 ウェイクアップ先送信回数</u>

R420	アウトレット 1	
R421	アウトレット 2	
R422	アウトレット 3	
R423	アウトレット 4	
	デフォルト:5(回)	設定可能値:0~255
<u>440 ウェイ</u>	クアップ先送信間隔	
R440	アウトレット 1	
R441	アウトレット 2	
R442	アウトレット 3	

- R443 アウトレット 4
 - デフォルト:10(秒) 設定可能値:0~3600

<u>5A0 リブート待機回数</u>

R5A0	アウトレット 1
R5A1	アウトレット 2
R5A2	アウトレット 3
R5A3	アウトレット 4
	デフォルト:0回

<u>5C0 リブート実行回数</u>

<u>300 97-</u>	「下夫1」回奴	
R5C0	アウトレット 1	
R5C1	アウトレット 2	
R5C2	アウトレット 3	
R5C3	アウトレット 4	
	デフォルト:0回	
500 AND/	OR 条件 (未使用)	
R500	アウトレット 1	
R501	アウトレット 2	
R502	アウトレット 3	
R503	アウトレット 4	

<u>520 待機回数</u>	
R520	アウトレット 1
R521	アウトレット 2
R522	アウトレット 3
R523	アウトレット 4
	デフォルト:0(回) 設定可能値:0~255
<u>540 PING 待</u>	機回数
R540	アウトレット 1
R541	アウトレット 2
R542	アウトレット 3
R543	アウトレット 4
	デフォルト:4(回) 設定可能値:1~255
<u>560 PING</u>	芯答待機時間
R560	アウトレット 1
R561	アウトレット 2
R562	アウトレット 3
R563	アウトレット 4
	デフォルト:2(秒) 設定可能値:1~3600
	必ず R260 よりも小さくすること
580 動作	(PON/POF/POR/MPON/MPOF)
R580	
R581	アウトレット2
R582	
R583	
1000	
<u>600 PING 監</u>	視アドレス アウトレット 1
R600	アドレス 1
R601	アドレス 2
R602	アドレス 3
R603	アドレス 4
	デフォルト:0.0.0.0
<u>610 PING 監</u>	視アドレス アウトレット 2
R610	アドレス 1
R611	アドレス 2
R612	アドレス 3
R613	アドレス 4
	デフォルト:0.0.0.0
<u>620 PING 監</u>	視アドレス アウトレット 3
R620	アドレス 1
R621	アドレス 2
R622	アドレス 3
R623	アドレス 4
	デフォルト:0.0.0.0

<u>630 PING 監視アドレス アウトレット 4</u>

R630	アドレス 1
R631	アドレス 2
R632	アドレス 3
R633	アドレス 4
	デフォルト:0.0.0.0

800 セキュリティシステム

R800	セキュリティロック猶予回数	
	デフォルト:0(回)	設定可能値:0~255
R801	セキュリティロック待機時間	
	デフォルト:0(分)	設定可能値:0~3600

<u>870 システム名称</u>

R870	システム名称(MAX 31 桁)	(日本語使用不可)

- R871 システム設置場所(MAX 31 桁) (未使用)
- R872 コンタクト(MAX 31 桁) (未使用)
- <u>900 システム詳細設定</u>

<u> </u>	
R900	協定世界標準時との時差
	デフォルト:+9 設定可能値:-12~0~+12
R901	時刻表現方法(未使用)
	デフォルト:0
R910	機器選択番号(英数 2 桁)
	デフォルト:00
R920	受信マジックパケット ON/OFF (0=無視する 1=反応する)
	デフォルト:0
R980	シャットダウン信号
	CS の論理(1=イベント時:正 0=イベント時:負)
	デフォルト:1
R981	シャットダウン信号
	CD の論理(1=イベント時:正 0=イベント時:負)
	デフォルト:1
R982	シャットダウンでバッテリー低下を出力
	(0=無視する 1=反応する)

デフォルト:0

1000 OFF 遅延時間 4

R1000	アウトレット 1	
R1001	アウトレット 2	
R1002	アウトレット 3	
R1003	アウトレット 4	
	デフォルト:120(秒)	設定可能値:0~3600

<u>1020 OFF 遅延時間 3</u>

20 OFF)	連明回 3 しんしょう しんしょ しんしょ		
R1020	アウトレット 1		
R1021	アウトレット 2		
R1022	アウトレット 3		
R1023	アウトレット 4		
	デフォルト:120(秒)	設定可能値:0~3600	

<u>1040 CS/CD 遅延時間</u>

+0 00/0	ノレ 圧圧的问		
R1040	アウトレット 1		
R1041	アウトレット 2		
R1042	アウトレット 3		
R1043	アウトレット 4		
	デフォルト:1(秒)	設定可能値:0~3600	

_1060 OFF 遅延時間 2

R1060	アウトレット 1	
R1061	アウトレット 2	
R1062	アウトレット 3	
R1063	アウトレット 4	
	デフォルト:0(秒)	設定可能値:0~3600

<u>1080 入出力する CS/CD/ER 信号の極性(UPS 側極性)</u>

R1080	CS 信号の極性	(0=イベント時 HIGH, 1=イベント時 LOW)
	デフォルト:0	
R1081	CD 信号の極性	(0=イベント時 HIGH, 1=イベント時 LOW)
	デフォルト:0	
R1084	ER 信号の極性	(0=イベント時 HIGH, 1=イベント時 LOW)
	デフォルト:1	

<u>2000 電子メール送信機能</u>

R2000	SMTP サーバ IP アドレス
	デフォルト:0.0.0.0
R2002	SMTP サーバポート番号
	デフォルト:25
R2004	SMTP タイプ (0=SMTP, 1=ESMTP)
	デフォルト:0
R2005	SMTP 送信前に POP3 認証を行なう(0=OFF, 1=ON)
	デフォルト:0
R2006	R2005 の待機時間(単位 0.1 秒)
	デフォルト:0.3(秒)
R2010	(未使用)
R2011	(未使用)
R2012	(未使用)

<u>2030 電子メール受信機能</u>

R2030	POP3 サーバ IP アドレス
	デフォルト:0.0.0.0
R2032	POP3 サーバポート番号
	デフォルト:110
R2041	POP3 ユーザーID
R2042	POP3 パスワード

<u>2100 電子メール基本設定</u>

R2100	From に書くメールアドレス	(必須)
R2110	メールを送る宛先 1	(必須)
R2111	メールを送る宛先 2	
R2112	メールを送る宛先 3	
R2113	メールを送る宛先 4	

<u>2200 電子メール送信機能の設定</u>

R2200	メール送信機能 (0=OFF, 1=ON)
	デフォルト:1
R2201	メール送信間隔(単位 0.1 分)
	デフォルト:1(分)

<u>2210 電子></u>	メール送信条件の設定	デフォルト:1
R2210	コマンド入力での動作	(0=未送信, 1=送信)
R2211	スケジュール実行での動作	(0=未送信, 1=送信)
R2212	PING での動作	(0=未送信, 1=送信)

2220	電子メ	ール送信項目設定((本機電源投入)	デフォルト:1
R22	220	воот		(0=未送信, 1=送信)

2230	電子メ・	<u>ール送信項目設定(電源 ON,OFF,</u>	リセット) デフォルト:1
R2:	230	PONx	(0=未送信, 1=送信)
R22	231	POFx	(0=未送信, 1=送信)
R22	232	PORx	(0=未送信, 1=送信)
R22	233	MPON	(0=未送信, 1=送信)
R2:	234	MPOF	(0=未送信, 1=送信)

2240 電子>	・ ール送信項目設定(UPS 電源障害)	デフォルト:1
R2240	UPS PF(UPS 電源障害)	(0=未送信, 1=送信)
R2241	UPS LB(UPS ローバッテリー)	(0=未送信, 1=送信)
R2242	UPS OK(UPS 正常復帰)	(0=未送信, 1=送信)
R2243	SHUT O(シャットダウン)	(0=未送信, 1=送信)

<u>3000 ネットワークレベル・セキュリティ設定</u>

R3000	IP レベルセキュリティシステム(0=無効, 1=有効)
	デフォルト:0

<u>3100</u>	<u>設定 1(未使用)</u>	
	R3100	設定 1 アクセスレベル
	R3102	設定 1 IPv4 アドレス
	R3103	設定 1 IPv4 ネットマスク
<u>3110</u>	設定 2(未使用)	
	R3110	設定 2 アクセスレベル
	R3112	設定 2 IPv4 アドレス
	R3113	設定 2 IPv4 ネットマスク
3120	設定 3(未使用)	
	R3120	設定 3 アクセスレベル
	R3122	設定 3 IPv4 アドレス
	R3123	設定 3 IPv4 ネットマスク
<u>3130</u>	<u> 設定 4(未使用)</u>	
	R3130	設定 4 アクセスレベル
	R3132	設定 4 IPv4 アドレス
	R3133	設定 4 IPv4 ネットマスク
<u>3140</u>	<u> 設定 5(未使用)</u>	
	R3140	設定 5 アクセスレベル
	R3142	設定 5 IPv4 アドレス
	R3143	設定 5 IPv4 ネットマスク
<u>3150</u>	設定 6(未使用)	
	R3150	設定 6 アクセスレベル
	R3152	設定 6 IPv4 アドレス
	R3153	設定 6 IPv4 ネットマスク
<u>3160</u>	設定 7(未使用)	
	R3160	設定 7 アクセスレベル
	R3162	設定 7 IPv4 アドレス
	R3163	設定 7 IPv4 ネットマスク
3170	設定 8(未使用)	
	R3170	設定 8 アクセスレベル
	R3172	設定 8 IPv4 アドレス
	R3173	設定 8 lPv4 ネットマスク
<u>3180</u>	設定 9(未使用)	
	R3180	設定 9 アクセスレベル
	R3182	設定 9 IPv4 アドレス
	R3183	設定 9 lPv4 ネットマスク
3190	設定 10(未使用)	
	R3190	設定 10 アクセスレベル
	R3192	設定 10 IPv4 アドレス
	R3193	設定 10 IPv4 ネットマスク

タイムチャート

- T1
 : OFF 遅延時間 1(R36x)

 T2
 : シャットダウン時間(R30x)
- T3 : OFF 遅延時間 3 (R102x)
- T4 : OFF 遅延時間 4 (R100x)

UPS 無し



ハードウェア仕様			
電源制御	LAN 制御	MRC-MANAGER	
		TELNET サーバプログラム	
	シリアル制御	MRC-UTILITY	
		ターミナルソフト	
	動作制御	OUTLET タイマー 1	
状態監視	PING 監視機能	PING 送信	
	異常判定機能	判定基準設定 2	
	自動制御機能	異常判定連動機能	
スケジュール制御	設定件数	200件	
	日付設定	月日/曜日(毎週)/毎月/祝日	
シャットダウン機能	電源障害信号出力		
Wakeup 機能	Wake On LAN 対応	、(MAGIC PACKET 出力)	
ロギング機能	最新 100 件メモリ		
セキュリティ	アクセスセキュリテ	ィ(パスワード変更、入力回数、待機時間)	
UPS 連携機能 ⁴	停電/復電時連動電源制御		
インターフェイス	_10BASE-T×1(対応プロトコル:TCPIP,TELNET)		
	RS232C × 1		
	MiniDIN.8×4		
表示部	LED×7(本体電源>	× 1,アウトレット × 4,LAN × 2)	
電源出力	アウトレット数	アウトレット×4(2極平行接地型)	
	最大制御容量	1500W	
	保護回路	サージアブソーバ、ノイズフィルター	
消費電力	約 7.8W(MAX)		
使用電源	AC100V±10%(50	/60Hz)	
重量	約 2.4 k g		
外形寸法	W108×D357×H5	59 (mm)	
使用環境	温度 5~40 湿度 20~85%(ただし結露なきこと)		
安全規格	特定電気用品認証品(電機用品安全法)		
付属品	ユーティリティソフト 5		
	RS232C(クロス)	ケーブル 1本	
	シャットダウンケー	ブル(XH-7610)1 本	
	取扱説明書、保証書、	、3P/2P 変換コネクタ	

1 ON 遅延時間、OFF 遅延時間、シャットダウン時間、リセット時間で設定します。

2 PING 待機回数、待機条件、応答待機時間で判定基準を設定します。

3 当社ホームページからダウンロードできます。

4 UPSと接続する場合のケーブルは弊社もしくは各 UPS メーカーにご相談ください。

5 MRC-UTILITY(設定用、WindowsXP/2000/Me/98/95/NT4 対応) MRC-MANAGER(制御/管理用、WindowsXP/2000/Me/98/95/NT4 対応) MRC-SHUTDOWN(Windows98/Me用)

ご注意

- (1)本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写、複製することは禁じます。
- (2)本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審 な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねます のでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起 因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いか ねますのでご了承ください。

Windows95、Windows98、WindowsME、WindowsNT、Windows2000 WindowsXPはMicrosoft Corporationの登録商標です。その他、記載の会社 名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

LAN •	タップ	LT-3000
取扱説明	書	第 1.4 版
版権所有	明京電機株式会社	2004 年 3 月

明京電機株式会社

〒116-0012 東京都荒川区東尾久 4-27-2 TEL (03) 3810-5580 FAX (03) 3810-5546 URL : <u>http://www.meikyo.co.jp</u> E-mail: info@meikyo.co.jp